

OMC事務局 〒560-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原一夫 TEL06-6833-9227
 広報編集局 〒573-1171 枚方市三栗1-18-20 前田茂夫 TEL072-850-5781
<http://www6.ocn.ne.jp/~nakabc/omc-news/kaiho.htm>

平成27年2月(2016年) No.590

丹波篠山ビデオ全国コンテスト わがOMCが4年連続グランプリ 今年は前田茂夫さんの「余部に生きる」が快挙

丹波篠山ビデオ大賞全国コンテストは、今年第26回目を迎えました。全国コンの中でもレベルの高いコンテストとして世に知られていますが、幸いにも我が大阪ムービーサークル会員が4年連続グランプリに輝く、という快挙を為し遂げました。今年は先月例会で発表された前田氏の「余部に生きる」が大賞に、おばあちゃんの言葉が得られたのが大きかった様です。昨年は合原氏の「最後の田んぼ」その前は黒田氏の「家族で受け継ぐ無形文化財」そして4年前は同じ前田氏の「炎に挑む」でグランプリ受賞、結局4年連続の快挙となり、うれしい限りです。前田さんへ皆さん拍手！

来年はOMCから複数のチャレンジャーが出てほしいものです。テーマは「生きる」7分以下の作品が求められています。吉岡さんの「つばめ」などなどもう少し手を加えれば”イケル！”と思いますが…。応募数が50本に満たない現状ということで、開催自体の継続が危ぶまれているようです。当クラブも協賛して何人かの人に出してほしいところです。(出品料なし)。

[参考：これまでのOMC会員入賞歴、故安居良枝さん1回、安居利次氏3回、有村博氏2回、黒田敏彦氏1回、合原一夫氏1回、前田茂夫氏3回 計11回]

平成26年度 年度賞の発表

平成26年度の年度賞は12月例会日の午後、幹事会で検討した結果、今年は年度大賞該当作品が見当らず、年度優秀賞、年度秀作賞、OMC会長賞の3本が選ばれ。トロフィと表彰状がそれぞれ会長から手渡された。

- 年度優秀賞 森口吉正さん 「大山名水探訪」
- 年度秀作賞 華岡 汪さん 「カウナスと十字架の丘」
- OMC会長賞 高瀬辰雄さん 「甦る大船鉾」 以上、拍手！

2月例会のお知らせ

2月例会は第4日曜28日午後6時より難波市民学習センターにて開催します。立春とはいえまだ寒さ続いています。風邪など召さぬ様にして例会そして2次会を大いに楽しみましょう。

平成27年度総会 要約

1. 例会の実績：平均出席者 22.8 人／月
作品出品数 13.4 本、役割は前年同様とする。年間総作品数 176 本(撮影会含む)
2. 撮影会の実施 5月8日～9日
参加者 18 名 和歌山友ヶ島と加太
コンテスト結果：1 位 紙本、2 位 江村、3 位 上田、4 位 前田の各氏
3. 第54回OMC映像フェスティバル開催
・中央会館 11月16日(日) 入場 190 名
4. 各種団体への支援事業
・第33回日本を縦断する映像発表会
2月11日(日) 観客 220 名 中央図書館
・第3回懐かしの映像作品を楽しむ会
9月7日(日) 観客 140 名 学習センター
・大阪アマチュア映像祭：中央図書館との共催事業、11月2日、観客 220 名
5. ビデオ映像コンテスト受賞実績
・第25回丹波篠山ビデオ大賞
グランプリ「最後の田んぼ」合原一夫
・東京アマチュア映像祭全国コンテスト
入選「絆で帰郷」有村 博 の2氏
6. OMC年度賞受賞者
・年度優秀賞「大山名水探訪」 森口
・年度秀作賞「カナスと十字架の丘」華岡
・OMC会長賞「蘇る大船鉾」 高瀬
の各氏
7. 例会皆出席賞
・12回出席 有村、江村、紙本、進藤、関、高瀬、華岡、前田、山本の9氏
・11回出席 上田、井上、岡本、河合、合原、宮崎、森下の7氏
8. 例会に毎回出品した人
・有村、江村、紙本、華岡、前田、山本の6氏
・11作品出品者：上田、進藤の2氏
9. 会員の動向：再入会者 2 名 錦、西井の両氏
10. 今期27年度新規事業

・勉強会再開の件、具体化は今後詰める

■進藤さんメルアド再変更

shin-73nt68m12a@hera.eonet.ne.jp

上記のとおり再変更になりました。

1 月例会レポート

25日13時より開催、司会、吉岡、書記、高瀬、上映、井上、江村、受付、華岡、宮崎、掲示、紙本の各氏の担当で例会進行。

◆出席者：有村、井上、上田、江藤、江村、岡本、河口、紙本、河合、黒田、合原、進藤、関、高瀬、華岡、野田、前田、宮崎、森口、森下、森田、山本、吉岡、吉村、渡辺の25氏と作品14本が上映されたが、時間の都合で関作品と森田作品は次回に優先上映。

◆上映作品(今月の記録と講評担当：高瀬世話役です)

1. 未知の空へ巣立つ(BD)

吉岡貞夫

10分30秒

阪急電車宝塚線の山本駅、改札口付近にツバメの巣が5つあり、4月の巣作りから始まり、6月、雛が生まれ、やがて巣立っていく様子をおよそ3か月かけて撮影されている。動物や自然の撮影は根気が要ります。吉岡さんは何時間をもかけ粘り強く撮影されたこととされます。親ツバメが餌をやったり、飛び立つ子ツバメの姿など随所にそうしたシーンがみられ、何よりも子ツバメの巣立ちを温かく見守るように撮影されているのが印象的で心温まる作品となっています。

2. イスラエル紀行(BD)

山本正夢

7分30秒

紅海の朝焼けから始まるイスラエル紀行。エイラット、死海、テルアビブ旧市街、十字軍上陸地、ムスリムで海水浴を楽しむ人などテンポの良いカメラワークで街の風景をとらえ、同国の歌と思われるBGMも雰囲気盛り上げている。そしてダビデの塔、嘆きの壁やユダヤ宮殿跡などで祈る人

々と続き、パレスチナを囲む高い壁、弾薬の丘、古い戦車など中東の過酷な歴史と、対照的なラストの海に落ちる夕日が印象に残る作品でした。

3. 大阪城2014年イルミネーション (BD)

吉村健一 15分16秒

昨年12月から行われている日本最大の大阪城イルミネーションショーを撮影された。光のトンネルを通り抜けると青い光の海ビッグブルー、バロック式庭園の光と噴水、ピラミッドツリー…落ち着いた映像で会場の雰囲気をも十分に味わうことが出来た。そして大阪城3Dマッピング。前回は上回るクオリティと銘打たれた映像を約10分にわたりじっくり見せていただいたが、固定した同じ画角が長時間続きます。アップを入れるなどで変化をもたされてもよかったです。

4. 鶴匠と左官 二つの顔に生きる (BD)

河口禮志 19分38秒

山口県岩国市に住み、左官業の傍ら錦帯橋で鶴匠を務める坂本光好さん70歳を描いた作品。河口さんの家の納屋の壁塗りや土間の石板貼りを手掛ける坂本さんに話を聞きながら作業風景を撮影。一方、鶴匠としての坂本さんも鶴飼船での綱捌きや仲間との仕事ぶりなどをインタビューを交えて描写。この映像を交互に構成編集され、坂本さんの人と成りを見事に描かれている。20分近い時間を感じさせない力作ですが、左官業の坂本さんがなぜ鶴匠になったのか…そのきっかけを知りたいと思いました。

5. ヤズド (イラン共和国) (BD)

華岡 汪 7分44秒

ヤズドはイラン中央部に位置する古い歴史を持つオアシス地帯の都市。イランの地図と共にヤズドを紹介するナレーションで始まります。過酷な砂漠の都市独特の地下室のある日干しレンガの建物やモスクとバザールの複合施設など珍しい風景が続く。歴史都市にふさわしい世界遺産、ドウラト・アーバード庭園内部のステンドグラスが美しい。ゾロアスター教文化の中心地だけ

に、古い寺院や礼拝する人々も見られる。聞きなれない地名や建物の名称に戸惑いながらも珍しい砂漠都市の風景を堪能させていただいた。ただラストがバスの窓の移動風景で唐突に終わる感じがします。

6. 余部に生きる (BD)

前田茂夫 11分34秒

余部で生まれ育ち、89歳の今日まで独りで生きてきた谷口くまさん。前田さんは余部に何度も通われ、くまさんとも親しく話を交わされる。くまさんは近くの寺にある地蔵に毎朝お参りするの生きがい。春夏秋冬、お参りする姿と余部鉄橋の風景を詩情豊かに描かれている。くまさんは「余部は月日が経っても変わったことってあらへん」と語る。お地蔵さんを見続けてきたくまさんの目に鉄橋が変わったことはどう映っているのだろうか。くまさんを慈しむような前田さんのカメラワークが心に残る作品です。

7. お酒になった水 (BD)

森口吉正 8分50秒

最初に滝の水が酒となる源丞内の親孝行の話で知られる養老の滝の伝説を紹介。日本の滝百選に挙げられる名瀑で、30mの高さから飛沫を上げ滔々と流れ落ちる養老の滝の映像が緑に映えて美しい。そして養老神社の境内にある名水百選の菊水の霊泉、源丞内の話では山吹色の水が酒に変わるが、森口さんはご自身が登場し、石段下で菊水の霊泉をこれがお酒であったらと汲まれる。森口さんならではの語りと名水の素晴らしい作品です。

8. 藤堂高虎ゆかりの地を歩く (BD)

紙本 勝 11分25秒

戦国時代から江戸初期に活躍した武将、藤堂高虎は13歳で浅井長政に仕えて以来、75歳で亡くなるまで8人の主君に仕えている。その足跡を故郷の滋賀県犬上郡甲良町在士から亡くなった京都伏見までを訪ね、まとめられた作品。何度も主君を変えた武将だけにゆかりの地や城も少なくない。城だけでも長浜城、大溝城、太田城、

和歌山城、大和郡山城、今治城、江戸城、二条城、亀山城、津城、伊賀上野城…と、やや忙しい場面展開もあるが、一つの作品にこれだけ多くの城を見るのは初めて。精力的な撮影には感服のほかありません。

9. 越中おわら風の盆 (BD)

上田吉巳 8分30秒

富山県越中八尾の「おわら風の盆」を同クラブの西井さんの協力を得て制作された作品。タイトルに歌謡曲「風の盆恋歌」のメロディーが流れ、井田川にかかる禅寺橋、石垣の坂道から八尾の町へ。静かな諏訪町の通りが風の盆が始まると大勢の観光客であふれるシーンへの流れは秀逸。風の盆の作品は何編か見ているが、地方の練習風景や昼と夜の町内の踊り、男踊りと女踊りの違い、お代と彦佐の伝説などこれほど詳しく描かれた作品は初めてで興味深く見せていただいた。

10. えび祭り (BD)

江村一郎 7分00秒

昨年5月、撮影会で行った和歌山・加太の春日神社の祭り。確か撮影会の次の週くらいに行われた祭り。江村さんは二週続けて行かれたわけだが、さらに後で神社にエビの彫刻があるのを知って再度、撮影に行かれたとか。獅子舞、神輿、薙刀などが町を練り歩き、小さな漁師町の祭りだが、賑やかで、楽しそうな町の人達の表情を真似の出来ない巧みなカメラワークと編集で綴られている。人の肩越しからのカット等NGになりそうな映像も江村さんの手にかかる、生き生きとしたシーンになります。

11. 雪の祇園新橋 (BD)

高瀬辰雄 5分30秒

1月1日、京都市内は60余年ぶりという大雪が降った。昼過ぎから降り始めたので、早速、祇園新橋に出向き、撮影した筆者の作品。祇園新橋はよくドラマなどで巽橋や辰巳大明神が登場する。2時間半、止むことなく雪が降り続いたので、いろいろなカットが拾えたが、編集してみるとヤマ

場の乏しい作品に終わってしまいました。

12. すべての人の心に花を (BD)

有村 博 5分05秒

沖縄の歌手、喜納昌吉の作詞作曲による「花～すべての人の心に花を～」を女性歌手が歌う歌詞に合わせ、花の映像を重ねられている。歌詞に花の名前は出てこないが、有村さんは1番には主に桜、2番はチューリップやツバキ、水仙、3番はバラで構成されていてメリハリをつけられている。色とりどりの花のアップの美しい映像と歌がぴったり合っており、心をなごまされる作品です。

13. 白鳥の湖 (BD)

進藤信男 10分50秒

梅田ドルチェアーティストサロンで行われた2人の女性フルート奏者によるリサイタル。「白鳥の湖」の演奏を白鳥の飛来地として知られる新潟県の瓢湖で撮影されたという白鳥の映像と重ね、編集されている。曲の変化と白鳥の動きがぴったり合い、音楽と映像が融合された素晴らしい作品です。会場の撮影はカメラの移動が出来ない上、奏者の前に大きな譜面台があるなど、撮影条件はあまり良いとはいえなかったようで、かなり苦勞されたことが伺えます。

14. 秋の小豆島逍遥 (BD)

渡辺雄史 6分05秒

瀬戸内海に浮かぶ小豆島を訪れ撮影されている。映画「二十四の瞳」の舞台となった岬の分教場、海の中から砂の道が現れるエンジェルロード、オリーブ発祥の地、世界一幅の狭い土渕海峡、西光寺のイチョウ、土庄港に建つ二十四の瞳のブロンズ像…と小豆島の観光名所をポイントをとらえた女性のナレーションで紹介。そして最後は寒霞溪の秋の風景で締めくくられており、非常にすっきりした旅行作品に仕上げられています。

「秋、湖北」関剛さん、「白衣で精進」森口光春さんの2作品は時間切れのため、来月の上映となりました。2月に優先上映させていただきます。